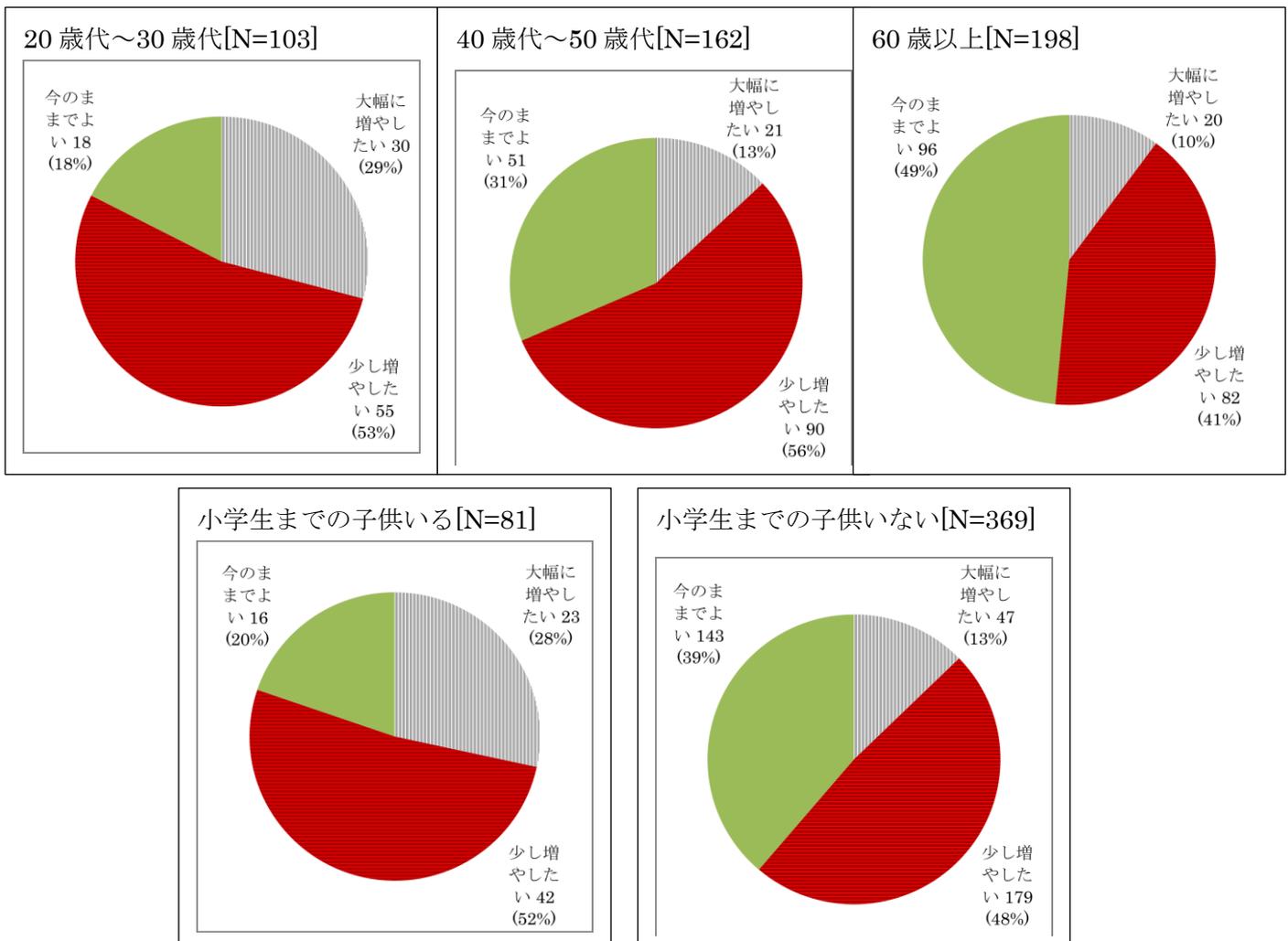
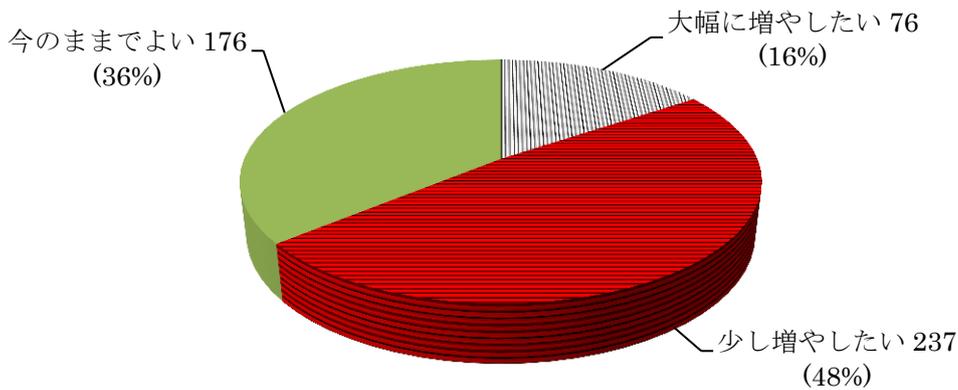


15. あなたは、今より魚を食べる機会を増やしたいですか？ [N=489]



【設問別の傾向】

全体の約64%が増やしたいと感じており、子供のいる家庭や若い世代ほどその傾向が強くなっている。

このことは、魚好きである60歳以上の多くは、既に多くの魚を食べているのに対し、50歳代までの世代においては、増やす意向さえあれば現実的に増やせる可能性が大きく、若い世代ほどその傾向が強いことを示唆するもので、このことは子供のいる家庭でも当てはまると思われる。また、前述の「3年前と比べて魚を食べる回数（量）が増えた家庭（約28%）と今より増やしたい家庭（約64%）と比較すると、今から増やしたい家庭と感じている家庭の方が36ポイントも高いことから、今後の取り組み如何で魚食の拡大が期待できると思われる。

【平成18年度に実施した市民アンケートとの比較】

全体的な傾向は同じであるが、「増やしたい」答えた家庭が全体的に増加傾向にある。